

令和元年度 関戸公民館利用者懇談会要点録（報告）

【開催日時】 令和2年1月17日（金） 午後7時から午後8時30分

【会場】 第2学習室

【出席者】 学びあい育ちあい推進審議会（炭谷会長、浅井委員）

【参加者数】 12人（9団体）

一 懇談会次第 一

- ・開会挨拶
- ・学びあい育ちあい推進審議会出席委員紹介・公民館等職員紹介
- ・主な議題
 - 1 公民館・女性センターからのお知らせ
 - 2 関戸公民館改修工事内容等について
 - 3 公共施設使用料の改定について
 - 4 意見交換・交流
 - 5 総括

1 公民館・女性センターからのお知らせ

●30年度関戸公民館利用者懇談会 意見交換・交流の意見・要望について

（関戸公民館）

○ 市民団体利用枠が少ない。行政内部の調整等を精査してほしい。

－（回答）－

文化祭の時期（＝11月）は文団連の発表の場として貸し出していることもあり、確かに枠数は少ない。ただし、他の時期については可能な限り5割を目指して運用していく。

○市内団体か市外団体かの登録を厳格にしてほしい。

－（回答）－

個人情報絡むため、現状以上に厳格にするのは難しい。あくまで公民館という社会教育施設であるため、お互い信用しあいながらの利用をお願いしたい。

○学習室等の夜間利用の場合の食事を可能にしてほしい。

－（回答）－

ほとんどの部屋は床がカーペットであるため、こぼしてしまうとシミになってしまう。また、においも残るため、後続の利用者に影響が出る。そのため一昨年前まで食事を制限していたが、利用者の強い要望によって、連続使用に限り食事を許可した。ただし、夜間における食事については、清掃の職員がいないなど、対応が難しい点があるため、引き続き食事は制限する。

○ホワイエの電気が暗くて受付しづらい。

－（回答）－

次年度の予算の執行状況を見ながら対応していく。

○若者が集まる市民ロビーで、何か「しかけ」を考えてはどうか。

－（回答）－

ボッチャの対戦会を実施した。今後も参加型のイベントを展開しつつ、利用されている方々が自由に楽しめる催物を考えていく。

（永山公民館）

○創作室の椅子（学校で使用する形のもの）が、古くなり木のささくれに洋服などが引っかかるので、ニスを塗るなど対応をしてほしい。

－（回答）－

養生テープを貼るなど対応をしていたが、十分ではないと考えたため、折り畳みのパイプ椅子を用意する。現在パイプ椅子を置く台車を手配しているところであるため、完了次第パイプ椅子を設置する。

○ベルブホールの舞台に上る階段に手すりがあるとよい。

－（回答）－

今までは手すりがない普通の階段仕様であったが、令和元年10月より、手すり付きの階段を用意して、利用できるようにした。

（女性センター）

※報告事項のみ（質疑等なし）

ワークショップルームについて、まな板など消耗品の買い替えを行っている。

施設の老朽化に関して、給湯設備について、水量が弱い等の意見が出ていた。これについては、本来今年度予定されていた改修工事の中で計画していたが、改修工事が延期となったため、延期後の改修工事で計画する。

使用料について、ワークショップルームは和室につぐ安さで貸し出しを行っており、調理をしなくても利用できるため、ためぜひ利用してほしい。

男女平等やLGBT等の活動を行っていれば、女性センターの登録団体として活動交流室を無料で利用できるため、なにかあれば気軽に問い合わせしてほしい。

2 関戸公民館改修工事内容等について

市民ロビーの工事については、令和2年12月から令和3年7月中旬頃を予定している。

工事に伴い第1・2学習室は作業員の控室として使用するため、期間中は利用不可となる。

市民ロビーにて営業しているカフェれすとについて、市民ロビーでの営業ができなくなるため、ギャラリーにて営業する。その関係上、ギャラリーについても工事期間中は利用できなくなる。

土日祝日は音を出す作業をしない。そのため、土日祝日であればホールの本番利用が可能。

3 使用料の改定について

関戸公民館について、ギャラリーが値上げした以外はすべて値下げした。

永山公民館について、ギャラリーと集会室が値上がりした。それ以外については値下げを行った。

消費生活センター・TAMA 女性センターの各施設については値下げを行った。

4月1日以降はこの料金が適応されるので注意。

4 意見交換・交流

○公民館運営審議会（以下公運審）を再開してほしい。

－（回答：安達）－

昔は社会教育法の中に公運審を設置できる旨が記載されていたが、「生涯学習振興法」の整備に伴い、社会教育法が変わって公運審の設置が任意となった。また、市として「行政改革」を進める中で、部門ごとに審議会を設置するのではなく、全体的な取りまとめが必要となった。さらに「社会教育」というのは公民館だけでなく、図書館や文化財、広義的にはスポーツも多分に関わる。こうした背景から「学びあい育ちあい推進審議会」が誕生したため、公運審の再設置は難しい。だからこそ、利用者懇談会という機会を活かして、利用者同士が忌憚のない意見を交わしあってほしい。

－（回答：炭谷）－

この場（利用者懇談会）で意見を言うことが大事。この場でこそ自由に意見を言ってもらえればと思う。

－（回答：浅井）－

利用者の観点からみても、どういう人が使っているかがわからない。その原因は、それぞれの団体がそれぞれの団体で収まってしまい、積極的に交流することが少ないことが挙げられる。利用者懇談会という機会を活かして、団体同士で交流できればと思う。

○「利用者の会」のようなものを作って運営することを発議したら行政側は支援するのか。

－（回答）－

その会に所属している人達だけの意見で公民館の運営を考えるといった状態は好ましくないと考える。

公民館としては「地域ふれあいフォーラム TAMA」を実施し、団体間の交流を促進している。また、多摩市文化団体連合のように、同じことをやっている仲間同士で一つの団体を作り、文団連として活動しているところもある。

●永山公民館も関戸公民館も利用率が減ってきている。このような状況の中で、人を集める手段として何があるか話し合いたい。（安達）

－（意見）－

自分たちの団体も会員が減ってきており、高齢化も進んでいる。そこで若年層の勧誘を意識して、名刺サイズで会員募集のチラシを作製した。通常のサイズでチラシを渡した場合、すぐに捨てられ

ることが多いが、名刺サイズであればカード入れに入るため、何かの時に出示してもらえる。
また、街の中を歩いて教室をやっている人に声をかけて文化祭の書道展に参加してもらった。

－（意見：安達）－

これからの公民館は、公民館の中だけで事業をやっていればいいというわけではない。国分寺市の話为例に出すと、国分寺市では地域ごとに公民館があり、その公民館を中心にして、地域のお祭りを「公民館祭り」と称して行ったり、地域の課題を話し合ったりしている。そこでは職員とそれを利用する市民が近い関係になっていて、地域の課題を解決するために公民館を利用する人が多い。本来であればこの姿が理想だと考える。公民館が地域に出て、人のつながりを作るなど、市民に近い場所を中心となり、課題解決のための話し合いの場となる必要があるのではないか。そういう意味では、アウトリーチの充実が重要である。

○関戸公民館の利用率は永山公民館の利用率に比べて少ないことが挙げられていたが、解決したのか。

－（回答）－

なぜ関戸公民館の利用率が永山公民館に比べて少ないかという点、一つは市の中心から外れていることが挙げられる。

また、最大の理由として防音設備の問題がある。関戸公民館は音出しできる場所として、スタジオ、大会議室、第3学習室がある。しかし、大会議室は仕切って分けて使用する場合は音出しができない。それに対して永山公民館は、集会室、視聴覚室、第1音楽室、第2音楽室と、4つの施設でほとんど使い方に縛られず音を出せる。

○少し防音の施設を増やすだけでもいいと思う。大規模改修に合わせて整備しないのか。

－（回答）－

防音設備は簡単に整備できるものではない。現実的に考えてそれは難しい。

○ホールにある市民ロビーで使えるピアノを1週間に1回程度、自由に奏でることができるストリートピアノとして活用したらどうか。

－（回答）－

ピアノはフルコン（本番用）とC3（練習用）の2種類あるが、それぞれ本番用・練習用と利用しているため、市民ロビーで定期的に使うことは難しい。

テレビ等で放送しているストリートピアノは、空港や駅等通り過ぎる場所での実施であるが、市民ロビーは居場所としての空間であるため、実施は難しい。

また、聴かせる音楽としてのレベルを保つことができるかも不明である。

5 総括

炭谷会長

利用者懇談会という場で様々な意見が出て、それをもとに改善していくこと。そして、公民館は貸館業務だけを行うものではない。そこで学ぶ者同士、利用する団体同士がお互い協力して色々な悩みを解決するというつながりを持つことを目指すことが重要である。「市民の学びをみんなで育てていく」という空間にしたい。お互いがお互いの団体のことを知ろうというように、少し視野を広げていき、つながりを持つことができればと思う。

また、毎年利用者懇談会は行うので、再度1年間活動していき、何かあれば報告してほしい。学育審にも今回の話題は提供させてもらおう。

浅井委員

今日初めて聞く団体名があり、非常に興味がわき、それらの団体とつながりたいと思った。自分たちの団体ではない団体の情報が欲しいと思い、お互いに協力できればよりいいと思う。我々はボランティア団体にも登録している。ボランティア団体に登録している団体では、任意で登録団体の連絡会を作っている。この連絡会は月に1回何かテーマを決めて勉強したり交流したりしている。このように、普通ではつながりあえない団体とつながり、交流できるというのは非常にいい機会である。公民館でもそのような志がある方々から始めていきたい。